

令和7年6月2日より、東京港青海A4ターミナル及び横浜港本牧BCターミナルにおいて、従来のデマレッジ料の問合せ等に加えて、実入コンテナの搬入・搬出等のターミナルへの手続をサイバーポートで一元的に実施可能となります。

※東京港青海A4ターミナル運営者：鈴江コーポレーション(株)

※横浜港本牧BCターミナル運営者：横浜港メガターミナル(株)(山九(株)・鈴江コーポレーション(株)・(株)住友倉庫・東京国際埠頭(株)・三菱倉庫(株))

## <横浜港本牧BCターミナル・東京港青海A4ターミナルにおけるサイバーポートとの連携状況>

黒字: 連携済、赤字: 6/2より連携開始

分類	コンテナターミナルへの主な手続	対応するCyber Port の機能・帳票
輸出	✓ 空コンテナの引取	空コンテナピックアップオーダー、機器受領書(EIR)※1
	✓ 実入コンテナの搬入※2	コンテナ貨物搬入票※2、機器受領書(EIR)※3
輸入	✓ 実入コンテナの搬出	コンテナ貨物搬出票、機器受領書(EIR)※1
	✓ 空コンテナの返却	機器受領書(EIR)※3
その他	✓ 各種検査申込	ターミナル問合せ機能
	✓ 費用支払(デマレッジ料、各種検査料金等)	ターミナル問合せ機能

※1: 機器受領書は、サイバーポートのバージョンアップ(Ver.2)に伴う対応が必要なため、令和7年10月頃の運用開始を予定。

※2: 実入コンテナの搬入に関して、搬入票情報を事前照合するために必要となるCONPAS-TOS(ターミナルオペレーションシステム)連携については、令和8年3月頃までにTOSを改修予定。

※3: 両ターミナルでは、実入コンテナの搬入時及び空コンテナの返却時に機器受領書を発出していないため連携の対象外。

# 利用方法(概要)

<利用方法(概要)> ※詳細のご利用方法は、別途マニュアルを準備します。

## ■ 取引作成

取引の作成

取引名  
(任意の取引名を入力)

Colinsからの連携データを取引に自動反映する

取引のオーナー  
海貨 海貨テスト用組織

社内管理番号

業務パターン  
 輸出  輸入

FCL/LCL  
FCL

仲介  
仲介あり

内航  
内航あり

新しい取引を作成する

空コンピックアップ  
オーダーの例(輸出)

## ■ 取引関係先の追加

取引関係先の追加

1 検索方法を選択する 2 取引関係先を検索する 3 取引関係先を追加する

取引に取引関係先を追加  
招待元となる事業種別・会社・組織を選択

海貨 海貨テスト用組織

追加する取引関係先を選択  
会社/組織

アクセスできる帳票

帳票名	権限
UL010: ブッキング依頼書	Read
UL020: 危険品ブッキング依頼書	Read
UL030: 危険物明細書	Read
UL050: 船腹予約確認書	Read
UL060: 空コンテナピックアップオーダー	ReadWrite
UL080: 機器受領書(EIR)	ReadWrite

各ターミナル事業者  
(=オーダー送り先)を  
取引に追加します。

取引関係先を追加する

## ■ 業務プロセスの追加(必須項目反映)

業務プロセスを追加

業務プロセス名  
空コンピックアップオーダー

担当する組織  
(未設定)

TER システム管理ベンダーテスト用\_ターミナル1  
ターミナルテスト用組織

取り扱う帳票  
UL060: 空コンテナピックアップオーダー

追加する

業務プロセス追加により  
ターミナル側が設定した  
必須項目が反映されます。

## ■ 帳票作成・更新

取引中 (任意の取引名を入力)

UL060: 空コンテナピックアップオーダー

更新: 1分前

取引管理番号  
EXP\_2025051500038658

ダッシュボード

業務プロセス

帳票の一覧

タスクの一覧

取引のタイムライン

参加している取引関係先

海貨 海貨テスト用組織

TER システム管理ベンダーテスト用\_ターミナル1  
ターミナルテスト用組織

取引関係先の追加

タスクの状態を変更

タスク名  
空コンピックアップオーダー

1分未満前

状態  
処理中

必須項目の設定

本船\_ブッキング(船腹予約)番号 本船\_本船名

本船\_航海番号 本船\_コールサイン

担当  
海貨 海貨テスト用組織

担当者(任意)

メッセージ(任意)

ここにメッセージを入力します

帳票の項目を入力し、保存・送信を行います。  
→ターミナルより受付結果が返ります。

